

平成29年度第2回千葉県がん対策審議会情報提供部会議事録

- 1 日時 平成29年11月20日（月）午後6時00分から午後7時05分
- 2 場所 千葉県庁本庁舎5階大会議室
- 3 出席委員
五十嵐部会長、野田委員、渡邊清高委員、渡辺鉦委員、浜野委員、中村委員、藤崎委員
欠席委員
宍倉委員、柳堀委員、坂本委員
- 4 議題
(1) 地域の療養情報「千葉県がんサポートブック」について
(2) 次期千葉県がん対策推進計画について
(3) その他
- 5 議事内容
議題（1）地域の療養情報「千葉県がんサポートブック」について
【事務局より、資料1-1から資料1-5に基づき説明】

○渡邊清高委員

とてもわかりやすい改訂となっている。最近トピックとなっている、AYA世代のがんや、就労について盛り込まれており、とても充実した内容となると思う。現在、36都道府県でこの様な冊子が作成されており、それぞれ改訂されていると伺っている。

部数に関しては、どこの都道府県でも悩んでいる様で、多くの都道府県では拠点病院等にサンプルを配付し、その他はコピーで対応している様である。千葉県では、それぞれの配付先からどの様に活用されているのかフィードバックはあるのか。

○事務局

利用者等からのサポートブックに関する御意見は、がんナビを通じていただいている。

○五十嵐部会長

北総病院では、自費で印刷していると聞いている。

○浜野委員

千葉県がんセンターでは、県からの委託により地域統括相談支援センター事業の中で実務を担っている。正式な調査は行っていないが、口頭で意見を聞いており、がん相談支援センターでの相談対応の中で使用することがあると聞いている。北総病院以外にもデータを印刷して配付している病院があると聞いている。

○五十嵐部会長

小児・AYA世代のがんについてのページの配置は、P 5 4 と P 5 5 でよいか。問い合わせ一覧の前の方が良いのではないか。

○浜野委員

問い合わせ一覧の前の P 3 5 と P 3 6 の間にあった方が良いと思う。また、目次にも小児・AYA世代のがんのページについて記載してほしい。

○藤崎委員

所属しているがん相談支援センターで使用している。ラックに配置して適宜持って行ってもらうのと、個別の対応の際に一緒に見ながら説明をしている。

医療費・生活費についての所だが、もうすでに変わっており、平成30年8月にまた変わることが予定されている。めまぐるしく制度等が変化していく中で、載せ方としてどの様な工夫をしたらよいか。

○浜野委員

今回は現行制度を掲載し、変更については増補版で対応することになるかと思う。来年度も増補版が出るということによろしいか。

○事務局

その予定である。

○野田委員

制度改正が予定されており、あらかじめ改訂が必要となることがわかっているのであれば、詳しくはがん相談支援センターにご相談くださいなどの一文を入れておくのが良いのではないか。

○渡辺鉦委員

仕事についてのページの、「働くことが可能な世代で」という表現が気になる。それ以外の年代は働けないのではないかとの誤解を与えてしまわないか。

○渡邊清高委員

20歳から64歳に該当しない方でも受け入れられる表現にする必要があると思う。

○浜野委員

20歳から64歳については、国の人口統計で使われている区分である。

○渡邊鉦委員

「いわゆる就労世代」と表記してよいのではないか。

○野田委員

仕事についてのページなので、あえて働くことが可能な世代と入れなくてもよいと思う。20歳から64歳とすれば、一般的に働くことが可能な世代とわかるのではないか。

がんにかかったときに使える制度について、「会社に属していることで使える制度」とあるが、高額療養費制度は会社に勤めていなくても使える制度だと思う。

○五十嵐部会長

傷病手当金は会社が負担するものか。

○事務局

今一度確認し、誤解のない表現としたい。

○中村委員

「焦ってやめない事が大事」の一文を加えてほしい。

○渡邊清高委員

各ページの下などに、がんになったら手にとるガイドを参照くださいとなっているが、今年の2月に更新版が出たので、該当ページをもう一度確認してほしい。

○野田委員

仕事についての相談窓口の部分で、無料という言葉がひっかかってしまった。重要なのは、無料ということではなく、誰でも相談できるということではないか。

○渡邊清高委員

就労に関する相談は、予約がなくても対応いただけるのか。

○藤崎委員

予約なしの飛び込みの相談に対応している。国立がん研究センター東病院、千葉医療センターではハローワークから就労のナビゲーターの方が来て、予約制で相談にのっている。

しかし、その様な専門員による相談支援を行っている所は少ないので、まずはがん相談支援センターで受けている。

○中村委員

まずは相談支援センターに来ていただいて、専門の機関につなげますという文言があってもよいのではないか。

○五十嵐部会長

書き方については、工夫していただきたい。

議題（２）次期千葉県がん対策推進計画について

【事務局より、資料２－１から資料２－２に基づき説明】

○浜野委員

相談支援に係る「施策の方向性」の「がん相談支援センターの周知と充実」について、質問と確認をさせていただきたい。

まず、がん相談支援センターは、がん診療連携拠点病院を中心に整備されてきているが、がん診療連携協力病院の指定要件の中にも、相談に対応できる体制としている。相談支援について、協力病院にどこまで求めていくのか県の考えを教えてください。

アピアランス支援については、情報提供の枠組みの中で書かれているが、相談支援においても関わってくることである。アピアランスに関する相談支援をどのように行っていくのか定まっていないため、情報提供のみの記載に留めているのか。

○事務局

協力病院の取り扱いについては、必ずしも「がん相談支援センター」と掲げなくても良いこととなっている。がん診療連携協議会相談支援専門部会とも協議をして、実態を把握した上で今後検討することになるか。

○浜野委員

協力病院の相談支援においては、場合によって取組にかなり差があることが推測されるので、統一的に協力病院に求めていくことは難しいと個人的には思う。

○事務局

引き続き、相談支援専門部会と共に検討しなければならないと思っている。

○中村委員

協力病院の相談員も危機感を感じており、そういった方たちが研修会等に意識高く参加している。統一した体制はないけれども、相談員の質は求められるといった点で非常に苦しいと思うので、拠点病院等と協力病院も含めた、相談支援の連携協力の体制づくりという所が鍵になってくると思っている。

○五十嵐部会長

協力病院の相談支援は地域連携室で行うことになっているのか。

○事務局

その様には決めてはおらず、相談支援を行う体制を作るということを要件としている。

○五十嵐部会長

各協力病院がどのような名前で相談支援の窓口を設けているかなどの把握は、今後の課題となると思う。

○事務局

アピアランス支援については、お見込みのとおりで、現時点ではアピアランスに関する相談支援体制がどうあるべきかを含めて、十分な検討がなされていないので、まずは情報提供ということで記載させていただいている。

○五十嵐部会長

どのような情報を提供していくのか。

○事務局

がんナビや拠点病院のホームページ等でアピアランスについても含めた情報を提供していくことを、現在検討している。

○浜野委員

アピアランス支援については、国立がん研究センターのアピアランス支援センターを視察したところ、相談支援と情報提供の両方を行っていた。現在、拠点病院の要件の中には、がん相談支援センターでアピアランスについて対応することは含まれていない。なので、どのような枠組みで相談支援を行っていくかについては移行期であり、今後検討が必要となる。

○野田委員

ピア・サポーターと患者会について記載されている部分で、「千葉県がんピア・サポーターの他にも、患者団体や」となっている。ピア・サポートやサロンについては、患者会が古くから担ってきている。千葉県では、ピア・サポートの事業があり、特筆すべき点だと思うが、「他にも」ではなく、並び立つような表現について検討いただけないかと思う。

○事務局

表現については、御意見を踏まえ、再度検討させていただく。

○渡邊清高委員

がん相談支援センターが担う役割は広がってきており、がん相談支援センターが、専門的な内容については適切な機関に繋ぐなど、住み分けについても検討が進んでいる。

○野田委員

ゲノム医療等のホットな話題については、患者はすぐに相談したいと思う。相談支援の均てん化を進めてきていると思うが、一方で、集約化する必要もあるのではないか。

また、相談支援のさらなる充実等が書かれているが、「一方でがん相談支援センターの人員が限られている」と書かれている。私たちとしては、そういった所を手厚くするための施策を考えてほしい。

議事（3）その他

【事務局より、資料3-1から資料3-2に基づき説明】

○五十嵐部会長

第1回目に検討を行ったQ&Aについて、内容等の再度検討が必要なQ&Aについては、掲載をストップしている。再度、担当者と内容を調整して掲載したい。

また、すでに掲載しているものについても、適宜検討をして情報を更新してい

きたいと思う。Q&Aに関する利用者からの質問はどの様に受け付けているのか。

○事務局

がんナビでは、がんナビの内容等について意見を受け付けている。がんに関する相談については、「がん相談支援センターにご相談ください」と掲載している。

○五十嵐部会長

Q&Aを更新していくとしたら、がん相談支援センターで良く受ける質問をピックアップして追加していくのか。

○事務局

その様に適宜追加できたらと思う。

○五十嵐部会長

多く質問を受けるものだけでなく、新しい情報については追加をし、情報提供できれば良いと思う。

○浜野委員

がんナビの掲載内容についての相談は、地域統括相談支援センターへお寄せいただきたい。そういった要望があれば、地域統括相談支援センターから健康づくり支援課を通して、情報提供部会でフィードバックができると思う。よく受ける質問についての議論は今後情報提供部会で行っていくことになると思う。

【議事終了】